

日本医療秘書学会第21回学術大会プログラム

テーマ：「医療秘書の魅力を語ろう」～戦略と挑戦～

1) 教育講演

「集約化、高度専門化、タスクシフトにより分断された医療をつなぐ医療秘書」
～媒体としての医療秘書～

千葉県がんセンター 医療の質・安全管理部部長
大内 邦枝

司会 おゆみの中央病院
医療支援部 医師事務支援室
主任 阿部 恵

2) 一般演題－I

座長 戸田中央メディカルケアグループ TMG本部
総局長室室長 橋本 敦

1. 医師事務作業補助者の価値を示すために
社会医療法人大雄会 総合大雄会病院 診療支援課
永田 ここの
2. 急性期医療において医師事務作業補助者の活躍の場
～Rapid Response System (RRS)～
大浜第一病院 診療部 ドクターサポート課
宮城 瑠華 根間 舞子
3. 当院における医師事務作業補助者の医療安全活動
～DAの医療安全文化の醸成と定着への取り組み～
佐賀県医療センター好生館 医師事務作業支援室
田中 美香
4. 当院放射線未開封レポート「ZERO」を目指す中
医師事務作業補助者の関わり方とその効
徳島県立中央病院
高田 美和
5. 年間約100例の減量・代謝改善手術を施行する
『代謝外科センター』チームの一員として
医師事務作業補助者の自分ごと化による業務の確立、ICTを導入して
大浜第一病院 診療部 ドクターサポート課¹
金城 綾乃¹ 根間 舞子¹
6. 短期大学医療秘書養成学科における学生意識調査第2報
～調査項目間の相関関係について～
関西女子短期大学 医療秘書学科2年¹ 関西女子短期大学 医療秘書学科²
天理よろづ相談所病院³
檜垣 ひとみ¹ 西山 良子² 本郷 由佳³ 山本 まりこ²

7. 医療機関実習から見た近年の医療事務員の特徴
福岡医療秘書福祉専門学校 医療秘書科 1年
市丸 愛佳 網田 茉央 大出水 菜々
8. たくさんの人に選ばれる職業を目指して！
～医療秘書・医療事務の魅力伝えるためには～
千葉医療秘書&IT専門学校 医療秘書科 1年¹ 診療情報管理士科 1年²
鍋倉 明音¹ 廣井 美和¹ 畑 理緒名²
9. 求められる医療事務員の本来の姿
札幌医療秘書福祉専門学校 医療秘書学 1年
伊藤 万実 内田 愛 岡部 優由
10. 需要のある医療秘書を目指して
～意識の本質的変化が導く接遇向上～
大阪医療秘書福祉&IT専門学校 診療情報管理士科 1年¹・医療秘書科 1年²
野村 はる¹ 濱田 明日香²

一般演題－Ⅱ

座長 聖母会聖母病院
事務次長・医事情報管理課長 杉山 勝志

11. AI の参入による業務のIT化が進む中で医療秘書に求められることとは
広島医療秘書こども専門学校 医療秘書科 1年¹
柴川 陽音¹ 岡田 美沙樹¹ 戸島 彩加¹
12. AI 予測における医療支援の可能性について
～医療秘書における DX 推進～
大阪医療技術学園専門学校 医療秘書・情報学科 2年
濱元 美来 別府 莉奈 宮里 美朱 酒見 宥輝 内藤 さくら
13. ITの発展の中で私たちができること
～これからの医療秘書の役割～
仙台医療秘書福祉専門学校 医療秘書科 1年
西野 穂乃佳 伊藤 あみ 中川 心暖
14. 医療秘書の有用性
～医療 DX 化と医療秘書の協働～
新潟ビジネス専門学校 医療秘書・事務学科 IT 医療情報学科 2年
宇崎 聖菜¹ 橋立 笑佳²
15. AIと医師事務作業補助者の役割と可能性
～私たちが見据える将来の医療～
大宮医療秘書専門学校 医療秘書科 2年
仁平 梨絵 相馬 春乃 高橋 心愛 和田 彩優花

16. 実習ストレス解消のための取り組みについて
 ～医療事務学科の学生を対象としたアンケート調査～
 東京医薬看護専門学校 IT 医療事務総合学科 2 年¹
 東京医薬看護専門学校 非常勤講師²
 中村 勇翔¹ 下野 綺音¹ 漆島 楓香¹ 松下 彩花¹ JO MINSEO¹ 三宮 柁名²
17. 人手不足解消に向けて私たちができること
 ～将来の医療現場を支える担い手を増やすために～
 専門学校岡山情報ビジネス学院 医療福祉事務学科 2 年
 松本 莉咲 秋田 美桜 大月 美穂 吉野 爽
18. 「即戦力となる人財育成を考える」
 ～医療従事者を目指す専門学生の視点～
 神戸元町医療秘書専門学校 医療秘書科 2 年
 丸井 咲季 島田 知香 玉田 陽香
19. 医師事務作業補助者の配置効果
 ～今後の戦略と挑戦～
 南東北医療クリニック メディカルアシスタント課
 後藤 美奈
20. 医師事務作業補助者の採用難に伴う初期研修や育成方法のリニューアル
 石巻赤十字病院 診療支援事務課
 平塚 育子 津崎 吾郎

一般演題Ⅲ

座長 千葉県済生会習志野病院
 事務部長 石井 仁

21. SDGs に対する医療機関の取り組み
 名古屋医療秘書福祉&IT 専門学校 医療秘書科 2 年
 村上 真悠 中村 朱里 鈴木 麻桜
22. 障がいのないコミュニケーション
 ～聴覚障がい者と医療機関～
 穴吹ビジネス専門学校 医療事務・クラーク学科 2 年
 内畠 璃来 大島 綾乃 久保 李樺 田浦 陽菜
23. 異文化理解のある医療現場へ
 ～安心して受診できる外国人対応～
 東京保育医療秘書専門学校 医療 AI 科 1 年¹ 2 年²
 近藤 愛乙音¹ 齊藤 ゆい¹
 伊藤 綾香¹ 坂中 亜緒衣¹ 甲谷 新菜² 鈴木 悠愛²
24. 生理の理解を得るための啓蒙活動
 ～潜在的な課題を顕在化するために私たちができること～
 埼玉女子短期大学 商学科 医療事務コンピュータコース 2 年
 宅間 絵梨 望月 ちひろ

25. 医療費未収金問題を考える
ー 私たち医療秘書専攻者がすべきこと ー
横浜医療秘書専門学校 医療秘書科 1年 診療情報管理士科 1年
白石 温華 湯浅 美礼 青木 来海 菊池 はるか 高橋 優
26. 2024年から求められる医師事務作業補助者
～タスク・シフト/シェアによる業務拡大～
東京医療秘書福祉&IT 専門学校 医療秘書科 1年
鈴木 瑠花 小楠 葵奈 植松 真弥
27. 医師事務作業補助部門の5S 係活動の効果
～執務室の整理整頓によるスペース確保～
横浜市東部病院 医師支援室
鶴見 怜央
28. 医事業務のシステム化と職員の意識
～医事部の働き方改革から見えてくるもの～
井上眼科病院 医事部
三浦 智恵子 鈴木 実結 菅田 あゆみ 馬場 富美
29. 関係構築に難航する医師との円滑な連携
順天堂大学医学部附属 順天堂醫院
兒玉 恭佳

3) シンポジウム

医療秘書の戦略と挑戦

座長

四谷メディカルキューブ メディカルクラーク科 科長

小野田 真理子

シンポジスト

1. 医師事務作業をどうするのか
おゆみの中央病院 茂原クリニック 院長
山縣 正庸
2. 医療秘書の可能性に向けて
セコム医療システム株式会社 取締役
マネジメント本部本部長 兼 運営管理部部長
山本 亨
3. これからの医療秘書に大切なこと
～薬剤部と事務部の両経験者からの一考～
日本赤十字社 医療事業推進本部 医療の質・研修部 主査
伊賀 正典